

一般社団法人 埼玉県トラック協会

ダンプトラック部会設立について

設立の背景と目的、6つの活動項目

2026年10月27日

本日の内容

- 01 設立の背景
- 02 部会の設立の目的
- 03 部会で取り上げる6つの活動項目
- 04 各活動の内容（①～⑥）

設立の背景

2026年4月より白ナンバー規制強化により、営業ナンバーのダンプトラック需要が急増している。



制度の違い 建設業法上の白ナンバーと運送業法上の営業ナンバーの違いを理解し、対応していかなければならない。

適正運賃 適正運賃への対応強化も必要。

過積載の根絶 白ナンバーの運用で受けていた過積載についても、営業ナンバーとして根絶に向けた動きが必要。

労働時間の管理 白ナンバーでの従来の運用から、営業ナンバー事業者として監査・労働時間管理への対応を徹底する。

広域応援と供給力 他県からの応援に頼る現場で、営業ナンバーの144時間の規制も踏まえ、需要急増への対応力を確保する。

これらの問題を解決するため、
ダンプトラック部会を設立し、様々な課題解決に向けて部会として活動し、業界の発展、各企業の基盤強化が大きな目的となる。

部会の設立の目的

営業ナンバーへの移行に伴う課題を、会員企業が個々に対応するだけでなく、
ダンプトラック部会として共有し、知識を高め、協会としての対応力を向上させることを目的とします。

01

問題点の共有

会員企業が抱える課題を持ち寄り、
業界全体で共有する。

02

知識の向上

法令・許可制度、運賃、労働時間、
安全などに関する知識を高める。

03

部会としての活動強化

部会として意見を集約し、
行政・荷主等への対応力を高める。

部会で取り上げる6つの活動項目

01

営業ナンバーに関する知識向上

02

標準的運賃の収受に向けた活動

03

需給変動への対応と安定供給

04

労働時間管理に関する勉強会

05

過積載撲滅に向けた活動

06

地域貢献活動

01

活動01

営業ナンバーに関する 知識向上

ねらい

許可制度・業務範囲の疑問を共有し、
各企業が知識を高めることで、
荷主への対応力、交渉力を強化する。

活動内容

建設業許可（〇建）と運送業許可（〇営）の違い

白ナンバーと営業ナンバーで対応できる運搬業務の範囲

一人親方が従事できる業務と適正な契約形態

運送業務に関する法令・許可制度の勉強会

02

活動02

標準的運賃の収受に 向けた活動

ねらい

標準的運賃の理解と
運賃交渉の課題を共有し、
部会として適正運賃の収受の為の活動を強化する。

活動内容

標準的運賃制度の理解促進

運賃交渉に必要な資料や情報の共有

ダンプトラック部会として、国、県、市各団体へ理解を求める活動を継続して行う。

03

活動03

需給変動への 対応と安定供給

144時間の特例を
ヒントに

ねらい

需要変動に対する課題を共有し、部会として安定供給への課題を検討する。

活動内容

白ナンバーは事業許可に伴う運行管理・監査の枠組みがなく、需要のある地域・現場へ機動的に対応しやすい。
一方、営業ナンバーは144時間の規制を受け、需要が集中する地域・現場への対応力で劣り、荷主への対応力が低下する。

大規模工事で不足

大きな工事の場合、車両が
不足する場合がある。

工事終了後は余剰

大きな工事が終わると、車両が
余剰になる場合がある。

適正台数の保有が困難

需給の山谷を調整する仕組みを
部会で検討する。

144時間の規制と、東日本大震災時の特例

通常：一の運行は144時間（6日間）以内

最初の勤務開始から最後の勤務終了までを制限。
長期間の運行による疲労の蓄積を防ぐため、
144時間以内に所属営業所に戻る必要がある。

震災時：現地の拠点で休息を取る特例

東日本大震災では、所属営業所に戻らず
現地の拠点で休息を取れる特例が設けられ、
全国からの応援ダンプカーの受け入れが実現。

荷主に対して 営業ナンバーのダンプの安定供給

事業者に対して 安定した仕事の確保

04

活動04

労働時間管理に 関する勉強会

ねらい

営業ナンバー事業者の法律を学び、
知識向上を目指す。
また部会員の集まりの中で、
勉強会を開催し、学ぶ場を作ることで
法律を遵守し、安心、安全な業界を目指す。

活動内容

改善基準告示や時間外労働の上限規制への対応

運転手の拘束時間、休息期間の適正管理

待機時間や荷役時間の削減

労働環境の改善に向けた情報交換

05

活動05

過積載撲滅に 向けた活動

ねらい

過積載の状況を共有し、
部会として、
警察、国、県、市、荷主への働きかけを行う。
またパンフレットなどを作成し、活動を強化する。

活動内容

過積載防止に関する勉強会

積載重量管理の徹底

荷主や積込事業者への協力要請

業界全体で過積載を防止するための取組み

06

活動06

地域貢献活動

ねらい

地域に根ざす運送事業者として、
安全・環境・災害対応の面から地域社会に貢献し、
業界の信頼と地位の向上につなげる。

活動内容

災害時の緊急輸送・復旧支援への協力

自治体等との連携のもと、災害時の物資輸送や土砂の運搬・復旧作業に協力する体制づくり。

地域のインフラ維持への協力

除雪や道路維持など、地域の生活を支える作業への協力。

交通安全運動への参加と啓発

交通安全運動行事への参加、児童向けの啓発活動など、地域の交通事故防止に貢献。

環境対策の推進

燃費改善・CO2削減、騒音・振動対策など、地域環境に配慮した運行の徹底。

地域行事・清掃活動への参加協力

地域イベントへの車両貸出や清掃活動への参加など、住民との接点づくり。

まとめ

ダンプ部会を設立し、

- 01 課題・問題点を共有
- 02 勉強会を通じて、知識向上、企業価値を向上
- 03 部会同士の交流を深め

各企業、ダンプトラック部会、業界の地位向上と発展を目指す。